

自動ブレーキ、急加速抑制搭載車に補助金支給へ

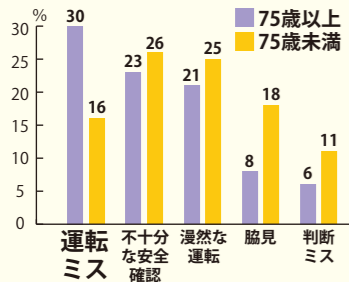
新車購入最大10万円 後付け装置 同4万円を補正予算案に計上

近年、子供が犠牲になる事故や高齢運転者による交通事故など、痛ましい自動車事故が相次いでいます。昨年11月、自動車事故の被害に遭われたご家族の皆様にお会いしました。遺族の皆様や被害者の皆様の無念と苦しみに耳を傾け、あらゆる施策を総動員して交通事故を撲滅していかなければならないと改めて強く決意しています。自動車事故の撲滅へ、自動走行技術の過信を防ぎユーザーに機能の正確な情報提供を行うことの重要性、公共交通の充実の必要性、また療養センター施設の拡充や、障害者支援施設等への補助などのご要望を受け、自動車事故の被害者やそのご家族の方々に対してのきめ細やかな救済事業のあり方を検討するための有識者会議を立ち上げ、具体的な対策を速やかに実行してまいります。



関東交通犯罪遺族の会(あいの会)【左】自動車損害賠償保障制度を考える会【右】より要望を受ける

■死亡事故の人的要因(2018年) ■ サポカーの機能



12月7日 定例会見にて高齢運転者による交通事故の削減に向けて「交通安全緊急対策に係る車両安全対策の措置方針」を発表

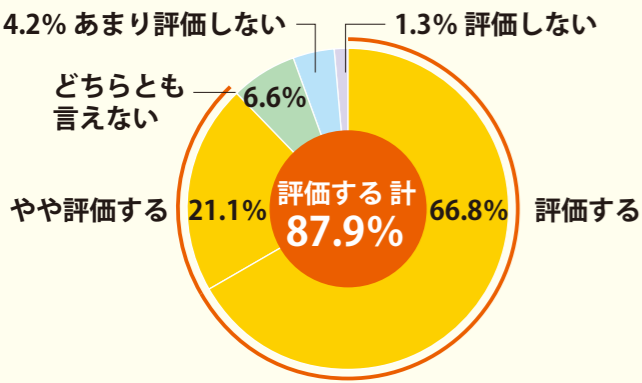
サポカー普及で 高齢ドライバー事故防ぐ

さらに、世界に先駆けて、令和3年11月から、歩行者も検知して自動ブレーキを作動させる「衝突被害軽減ブレーキ」を新車の乗用車等に義務づけることや、安全運転サポート車の購入ならびに「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置」への補助金の支給を決定しました。一方で、このような技術に対する過信を防ぐため、ユーザーに対し、先進安全技術はあくまでも安全運転の支援であり、機能には限界がある旨の情報提供を行うなど、ソフト面での対策も講じてまいります。また、高齢者の運転免許の返納後の受け皿となる地域公共交通の確保にも取り組みます。地域の公共交通の維持・活性化や高齢者の移動手段の確保についても、全国への普及やネットワーク化に向け、早期に全国普及を図ってまいります。

「幼児教育・保育の無償化に関する実態調査」

公明党が中間報告を発表!!

■幼保無償化への評価



公明党は、12月20日までの調査が終了後、1月下旬に最終報告を公表する予定です。

2019年12月6日、公明党は11月11日から全国の国会・地方議員が取り組む「幼児教育・保育の無償化に関する実態調査」の中間報告を発表しました。報告は、11月末までの回答を集計。利用者4037件、事業者2448件の合計6485件の回答を得ました。12月6日時点での回答はすでに約1万4000件に上っています。

利用者、幼保無償化を9割が「評価」 今後取り組んで欲しい政策では「質の向上」が1位

中間報告では、利用者のうち87.9%が幼保無償化を「評価する」「やや評価する」と回答。66.2%が無償化で保育料の「負担が減った」と答えました。今後、取り組んでほしい政策の問い(複数回答可)には、「保育の質の向上」(47.5%)、「0~2歳児の無償化の対象拡大」(37.8%)、「待機児童対策」(34.1%)との答えが多く見られました。

赤羽NOW vol.58

あかば・ナウ 公明党衆議院小選挙区兵庫第2総支部ニュース 2020

赤羽かずよし

国土交通大臣

衆議院議員

兵庫2区【兵庫区・北区・長田区・西宮市(山口支所管内・塩瀬支所管内)】

いよいよ 昨年9月の内閣改造にて、国土交通大臣の重責を拝命致しました。長年にわたる真心からのご支援とご指導に心から感謝致します。また、大臣就任直後から一連の災害対応や分刻みの公務のため地元に戻ることもままならず、一番お世話になっている地元の皆様にご無沙汰しておりますこと、深くお詫び申し上げます。

命と暮らしを守る三本柱 さて、国土交通省は、道路・河川・住宅・街づくり、航空・港湾・鉄道・自動車(バス・タクシー・トラック)・物流、そして観光庁、海上保安庁、気象庁など、陸・海空にわたる幅広い分野を所管し、国民の皆様への命と暮らしを守る重い使命と責任が課せられています。私は、大臣就任の記者会見で、特に

- ① 国民の命と暮らしを守る防災・減災対策
- ② 誰もが安心して暮らせるバリアフリー社会と観光の推進
- ③ 交通事故の撲滅と公共交通機関の維持・発展

——の三本柱を公約として語らせて頂きました。以来、スタートダッシュで、公約実現に奔走しています。

魅力あふれる神戸を構築 地元の阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業の高架完成式典(11月30日)、北区道場町千刈ダムの治水ダム化の起工式(12月1日)、国道176号名塩道路の城山トンネル着工式(1月12日)など、長年の課題にも取り組んでいます。

安心と成長の未来を拓く経済対策 昨年12月、政府は「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を閣議決定し、次の重点項目の実現に全力で取り組むことになりました。

- (1) 相次ぐ自然災害からの復旧・復興の加速や、防災・減災、国土強靱化の取組の着実な推進と強化など、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保
- (2) 中小企業・小規模事業者の生産性向上のための環境整備など経済の下振れリスクを乗り越える重点支援
- (3) 外国人観光客6千万人時代を見据えた基盤整備、生産性向上を支えるインフラの整備など、未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上

国土交通大臣として、全ての政策を迅速かつ着実に実行し、安全・安心で活力あふれる日本、魅力ある故郷・神戸を実現して参ります。皆様の一層のご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

赤羽 走る!! アカバの仕事は、 防災と減災!

一番困っている所に最初に行く...

私は、大臣就任直後から、台風15号・17号・19号、沖縄首里城火災、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害、佐賀県洪水など延べ21道県の被災地を訪問——。阪神・淡路大震災に被災した一人として「一番困っている所に最初に行く」「現場に行かねば、真実は分からない」と学んだからです。

台風19号など自然災害からの
復旧・復興や、防災・減災対策に
計1兆486億円
総額1兆2634億円の
2019年度国交省補正
予算案を閣議決定



9月14 千葉
鎌南町内の被災状況について
白石町長と意見交換

千葉の屋根を救う...

千葉県各地では、多くの屋根損害を目の当たりにし、これまで災害救助法の緊急修理制度の対象ではなかった一部損壊住宅にも対象を拡大しました。台風第19号では、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)700名を即座に派遣。河川や道路の復旧工事を国が代行し迅速な災害復旧事業を実施しています。



9月26 宮崎
延岡駅周辺の竜巻被害を視察

教訓に学ぶ...

一連の災害の教訓として、①河川の堤防強化や河床掘削、②既存ダムの事前放流等の活用、③雨水貯留施設等の整備、④橋梁の損傷防止対策や無電柱化などのインフラ整備、⑤災害情報の発信・共有、⑥ハザードマップ(被害予測地図等)を活用した避難体制づくり等、多くの取組が必要です。



9月26 熊本
熊本城の復旧状況を視察

抜本的な治水対策...

どの被災地も被害規模が甚大化しているのを見て、頻発化・激甚化する災害から命と暮らしを守るハード・ソフト両面の防災・減災対策をすすめるため、将来の気候変動の影響による降雨量の増加などに備える抜本的な治水計画の具体的な検討を始めています。



10月20 福島
本宮市内の被災状況を福島県知事、
本宮市長とともに視察

アカバの仕事は、防災と減災!

こうした課題の解決のため、国土交通省として国・県・市だけでなく、企業や住民の方々などと一緒に、ハード・ソフトが一体となった流域全体で備える総合的な水災害対策をすすめ、防災・減災が主流となる安全・安心な社会づくりに全力を傾けてまいります。



10月21 茨城
JR水郡線被災箇所(第6久慈川
橋りょう)を視察



10月27 北海道
厚真町の応急仮設住宅を視察



11月4 長野
千曲川及び上田電鉄(上田市)の
復旧状況等を視察



11月24 宮城
安倍総理とともに吉田川水防
拠点において説明を受ける

文化・芸術・ 歴史・スポーツ...

昨秋のラグビー・ワールドカップ大会では世界中のラグビーファンが各地を訪問。地域の方との間に交流が生まれました。昨年10月には北海道でのG20観光大臣会合では議長を務め、観光政策の大きな可能性と、文化・芸術・歴史・スポーツや相互交流の価値について確認しました。

観光は地方創生の柱...

観光は成長の柱、地方創生の切り札です。外国人旅行者の拡大は地域に新たな消費や雇用を生み賑わいと活気をもたらし、地域が活性化に向けて主体的に取り組む機運を生み出します。外国語対応の整備や、地域の眠れる観光資源を活用した夜間・早朝も楽しめる環境づくり、城泊・寺泊による歴史的資源の活用等、外国人が長期滞在できる観光資源作りを進めます。

新幹線も抜本対策...

東京オリンピック・パラリンピックを迎える本年は、共生社会・ユニバーサルデザイン社会前進の年です。外国人旅行者、高齢者、障害者の方々など誰もが快適に移動できる社会の実現を目指します。特に大量輸送を担う新幹線のバリアフリー対策を抜本的に見直すため検討会を立ち上げました。



アカバの仕事は、 観光とバリアフリー!



心のバリアフリーも...

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合う「心のバリアフリー」についても具体的に行動します。ソフト対策の強化に向けて、当事者の方々のご意見に耳を傾けながら、バリアフリーの社会づくりを進めてまいります。

訪日外国人6,000万人へ...

「明日の日本を支える観光ビジョン」の2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人、2030年には6,000万人等の目標達成に向けて、地方誘客と消費拡大に向けた取り組みを一層推進し、観光先進国の実現に取り組みます。

より魅力ある神戸・西宮に!



第17回暴力団追放住民決起大会



道の駅淡河リニューアルオープン式典に出席



有馬温泉観光関係者とインバウンド促進等のため意見交換



千叅ダム起工式に出席



北区街頭演説会(神戸電鉄南
場駅)

首里城再建 力強く推進 沖縄の意向最優先で財源、人的支援に全力

11月9、10の両日、沖縄を訪問しました。このうち9日には、正殿をはじめ主要施設が焼失した那覇市の首里城を視察。沖縄の皆さんの心の支えであり、歴史と文化の象徴が焼失したことに言葉を失いました。沖縄は、わが国が誇る観光立国の重要な柱。今後、再建費の財源確保や必要な人的支援に取り組み、地元の意向を踏まえ、しっかり進めていきます。



11月9

首里城公園内で担当者意見交換